

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 1 生徒が将来の夢を明確な目標として堅持し、それに向けて努力を継続できるよう、個別にサポートできる体制づくりに取り組む
- 2 規律正しい生活及び家庭学習の習慣を確立させ、自習室の利用等による自律的学習の強化を図るとともに、主体的に部活動に参加できるバランスのとれた生徒の育成に取り組む
- 3 あいさつ、敬語の使い方等のコミュニケーション能力をさらに向上させるとともに、他人への思いやりある生徒の育成に取り組む
- 4 国際交流を始めとする生徒・保護者の多様なニーズに応え、地域の幼稚園、保育所、小・中学校等の教育資源との連携や各種の地域活動への参画などを通じた生徒の自尊感情の高まりによる「国際感覚を備えた地域に貢献できる若きリーダーの育成」に取り組む
- 5 人格形成、学習指導、キャリア教育等において、さらなる満足度アップを実現する、元気でたくましい生徒があふれる「明るくさわやかな学び舎」「安全・安心の学び舎」づくりに取り組む

2 中期的目標

1 さらなる学力の向上及び進路の保障

- (1) 生徒が主体的に学べる充実した授業の実現に取り組む。
 - ア グループワークを取り入れることにより、主体的な学びをめざし、協同作業及び討論を行わせ、発表能力を向上させる。
 - イ タブレット端末を含む ICT の活用により生徒の興味を引き出すとともに、アクティブ・ラーニングを取り入れ、教員と生徒及び生徒同士がキャッチボールができる授業を行い、脳の活性化を促すとともに授業時間を有効に活用する。
 - ウ 少人数展開や進路別授業、実験・実習の充実により全教科でわかる授業を展開する。
- (2) 個々の進路希望を実現する新カリキュラムによる学習指導を進め、家庭学習指導、個別指導の充実を図ることにより、進路の保障に結び付ける。
 - ア 生徒の進路希望を尊重した選択科目により、主体的に学ぶ意欲を引き出す。
 - イ 受験用学習教材を用いるとともに、取り組みやすい学習課題づくりや小テストの実施等により、家庭学習の重要性を認識させる。
 - ウ 早朝、放課後の講習・補習及び長期休暇中の学習イベントにより「わかる・できる」を体感させる。
※生徒向け学校教育自己診断【授業満足度】（平成 28 年度 69.7%）を平成 31 年度には 75%に、【カリキュラム満足度】（平成 28 年度 67.2%）を 75%にする。
※国公立大学合格 10 名以上、関関同立合格のべ 100 名以上（看護・医療系、公務員等一人ひとりの目標に対する指導を含む）

2 キャリア教育のための環境づくり

- (1) 自立・自律した人間として、将来の生き方を考えることができるプログラムを展開する。
 - ア 土曜授業を念頭に置いた「志学」、「総合」、LHR の中期的計画及び指導計画を策定する。
 - イ 地域連携、国際交流の充実に向けた体制を整備する。
 - ウ 将来の生き方を見据えた「進路」を決定するために必要なプログラムを準備する。
 - エ 読書活動を推進する。（平成 28 年度学校経営推進費事業による「さやまアクティブ・ライブラリー」をさらに発展させ、生徒の主体性を育む。）
 - オ 狭山生として必要なルールである「さやまスタンダード」の徹底を図る。
- (2) 互いの違いを認め合う人権尊重意識の向上に取り組む。
 - ア 多様な機会を生かした人権教育を推進する。
- (3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取り組む。
 - ア 学校としての相談体制を明確にするとともに、学年団（担任）及び部活動における相談体制を確立する。
 - イ 部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図るとともに、退部した生徒のフォローに努める。
※生徒向け学校教育自己診断【学校生活満足度】（平成 28 年度 77.6%）を平成 31 年度には 85%に、【相談体制満足度】（平成 28 年度 67.2%）を 75%にする。

3 学校改革に向けての盤石な体制づくり

- (1) 教職員による体制づくりに取り組む。
 - ア SP 委員会 NEXT により、学校の将来像を検討するとともに、課題解決案を提案する。
 - イ 事態対処の事例研究により、教員のノウハウを伝承するとともに人材育成を行う。
 - ウ 合理的配慮に関する理解を深めるための教員研修を実施するとともに、適切な対応を行う。
 - エ 創立 40 周年実行委員会を立ち上げ、準備を開始する。
 - オ 「文化部フェスタ」等の実施により、学校の活動を周知する。
- (2) PTA、同窓会等活動の活性化に取り組む。
- (3) 学校協議会の提言を具現化する。
 - ※教員向け学校教育自己診断【学校運営への参画意識】（平成 28 年度 77.7%）を平成 31 年度には 85%にする。
 - ※保護者向け学校教育自己診断【学校満足度】（平成 28 年度 86.1%）を平成 30 年度には 90%にする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見																								
<p>1. 授業</p> <p>29 年度. 学校教育自己診断アンケートの授業に関する質問項目 ①授業の工夫 ②期待に応える授業 ③興味・関心・適正・進路に応じたカリキュラムで肯定的な答えをした割合は、過去 5 年間で上昇し続けそれぞれ 78.9%、73.1%、76.7% となり 70%台を突破した (※下記一覧表)。</p> <p>この事は、授業アンケートの有効活用、研究授業、教員相互の授業見学、授業研修、ICT 機器の活用、および主体的・対話的で深い学びを取り入れ、思考力・判断力を養う授業も実施し、狭山高校生の学力向上に資する組織的・継続的な授業改善努力が一定程度結実した結果である。</p> <p>※質問項目に 1 強く思う、2 思うの合計比率 (単位: %)</p> <table border="1" data-bbox="155 715 892 872"> <thead> <tr> <th>肯定的な比率</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業の工夫</td> <td>40.7</td> <td>66.5</td> <td>70.5</td> <td>73.5</td> <td>78.9</td> </tr> <tr> <td>期待に応える授業</td> <td>54.7</td> <td>60.8</td> <td>62.2</td> <td>64.8</td> <td>73.1</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td>57.3</td> <td>65.3</td> <td>67.7</td> <td>67.2</td> <td>76.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>H. 30 入学生から、高大接続改革の一環として国語・数学で思考力/判断力を試す設問や英語における外部テストの導入等の「大学入学共通テスト」対応が求められる。次年度はこれらの外部環境変化に対して教科・分掌・学年で対応協議を重ね、「チームさやま」として教職員総がかりで授業改革を行うための有力な評価指標として学校教育自己診断や授業アンケートを活用する。</p> <p>2. 進路</p> <p>進路に関する質問では、考える機会の充実と自己実現の取り組みを問うたが、進路分野別説明会や職業ガイダンス、大学見学等進路を考える多様な行事や模擬テストの校内実施や斡旋により生徒一人ひとりのニーズに合ったキメ細やかな進路指導の結果動機づけの部分⇒「進路を考える機会が充実している」の質問に 80.2% (+5.4P) の肯定的な結果となったが「自己実現の取り組み」は年々増加傾向にあるものの 66.4% (-1.1P) と微減に終わり課題を残した。進路実現の取り組みの中でも約 70% が四年制大学を志望することから、校内模試を充実させ、学校の枠を超えた多くの受験生の中で自己の学力把握したうえで「1 年生から 3 年生までを見通した一貫性のある進路指導」を推進することを来年度の課題とする。</p> <p>3. 高校生活</p> <p>(1) 高校生活の充実度 (生徒同士、先生と生徒の関係)</p> <p>「狭山高校での高校生活は充実しているか」の問いに対して 78.4% の生徒が肯定的な回答をした。H25. 74.2% → H26. 75% → H27. 78.5% → H28. 77.6% と年々増加傾向にあるが、充実した高校生活を過ごす過程で学力・知力・徳力を伸ばし高い意識で希望進路を実現させる取り組みをさらに進めたい。</p> <p>教職員全員で、生徒を鍛え励まし※伸び率 (成長率) N01 を合言葉にサポートする体制をさらに高めることで、高校生活の充実度 80% 超をめざす (※本校はチームさやまとして教職員全員が一致団結して生徒を支援し顕著な成果を上げたことから H28. 大阪府教育委員会 H. 29 文部科学大臣から表彰されました)。</p> <p>生徒同士で「友好的な人間関係を構築できているか」の問いに対して 88.5% が肯定的な回答を示した。例年 87% ~ 89% で安定している。他方、「先生は親身に相談に応じているか」の問いには 73.4% (+6.2P) が肯定的にとらえており 5 年間の推移を見ても※年々増加傾向であり好ましい結果となっている。</p> <p>(※H25. 57.4% → H26. 60% → H27. 65.1% → H28. 67.2%)</p> <p>(2) 学校行事</p> <p>学校行事に楽しめる工夫がされているか 82.8% (+5p) がそう思うと答えており生徒・教職員・PTA が協力して準備し家族から友人・近隣住民まで来てもらえる文化祭および多彩な競技種目をそろえた体育大会、クラスマッチ (球技大会) さやかホールで行われる文化クラブ発表の場である文化部フェスタ或いは読書推進の一環であるビブリオバトル (書評大会)、英語暗唱大会等狭山高校独自の行事も多く、生徒の楽しみと共に発表を通じて伝える力の養成にもつながっている。</p> <p>(3) クラブ部活動</p> <p>クラブ活動において「積極的に取り組んでいるか」の問いに対して 69.4% (+2.9p) そうしていると答えている。運動系・文化系合わせて約 80% の入部率から考えると数値が低い感じがするが、5 年間の推移を見ても横ばいであり対外試合や発表会を通じて、多くの成功体験を積み重ねることとクラブ活動でしか経験できない縦の人間関係を知ることは、先々社会人になった時に大きな財産になるので部顧問の教職員および外部指導員の方々の協力でさらに部活の発展・充実</p>	肯定的な比率	H25	H26	H27	H28	H29	授業の工夫	40.7	66.5	70.5	73.5	78.9	期待に応える授業	54.7	60.8	62.2	64.8	73.1	カリキュラム	57.3	65.3	67.7	67.2	76.7	<p>(5) 国際交流</p> <p>本校は豪州の Carey 校と韓国の景福高校の 2 校との姉妹校提携を軸に国際交流を実施しており毎年相互訪問による親善交流を実施している。今年は残念ながら北朝鮮のミサイル問題から Carey 校の来校が中止になったが韓国の景福高校へのスタディツアーは 24 名の生徒が参加し親善・異文化理解の点で意義深いものになった。11 月には巨済女子高校の研修旅行の受け入れも行い、授業交流や施設見学で親善を図り生徒の国際交流に関する意識は 63.2% (+3p) が肯定的なものとなり H25. 52% から年々向上している。</p> <p>(6) 地域ボランティア</p> <p>狭山池まつりの舞台部門の参加・運営に全面協力すると共に、狭山池のクリーンキャンペーンには 15 年間続けて積極的に協力しており、年々生徒のボランティアに対する意識は高まっている。50.6% (+0.9) は 5 年間増加傾向にあり参加者の増加と共に増えている。大阪狭山市唯一の高等学校であり今後とも生徒の自主的な地域連携を支援していく。</p> <p>学校協議会からの意見</p> <p>第 1 回学校協議会</p> <p>1. H29. 学校経営計画の説明</p> <p>(1) めざす学校像 (狭山スタンダード、地域連携と国際交流、安全安心の学校づくり)</p> <p>(2) 中期的目標として学力向上と進路保障、キャリア教育、正しい価値観を身に着けた人づくり</p> <p>(3) 読書活動と図書館の充実</p> <p>(4) 学校改革: SP 委員会で制服改訂を論議し H30 より新たな制服を導入と広報戦略 2 年後の創立 40 周年に向けて実行委員会の立ち上げ</p> <p>Q. 卒業生からも狭山高校の生徒指導が厳しいとの声があるが、成長のための厳しさであると、伝えることも大切である。現状分析をして積極的に広報で発信することが必要では?</p> <p>A. 現在は他校と比べて特別に規則が厳しいとは思わない。むしろ過去のイメージを引きずっている感がある。学校説明会や開かれた学校行事に加えて特色ある取り組みや生徒の学校生活を HP で発信する。</p> <p>Q. 新制服の反響は?</p> <p>A. 学校説明会や HP で広く新制服をアピールすると共に地元の 3 中学の生徒を招いて最終案に残った制服を選んでもらった。</p> <p>Q. 地域中学校との交流で 2 年前に One World Youth のイベント等狭山高校が地域中学校に働きかけたがその後はどうなっているのか?</p> <p>A. ANGO や JICA、100 人の村の出前授業等継続して行っている。</p> <p>第 2 回学校協議会</p> <p>Q. 来年度、①新制服になることの中学生の反響②40 周年の進捗状況③ご合理的配慮を要する生徒の状況を聴かせて欲しい。</p> <p>A. 今年度の学校経営は順調に推移しており質問して頂いた 3 項目を含めて以下に担当の教員から説明いたします。</p> <p>A. ①自己診断アンケート質問項目の説明と新たに「いじめ」に関する項目をいれた背景と趣旨を説明 ②教科書選定につき選定理由の一覧を協議会委員に説明し確認いただく ③授業改善につき多くの先生が公開授業を実施した。経験の浅い先生の座談会 (フレッシュミーティング) を実施 ④文化祭・体育大会等行事の説明及び部活入部率 76% と部活動の現状説明 ⑤進路状況、今年是指定校推薦が 70 名となり前年比 10 名増加 ⑥第 1 回学校説明会で授業・クラブ体験を行い好評であった。また、例年より参加者が増加した ⑦合理的配慮を要する生徒は順調に学校生活を送っているが施設面でももう少し充実していればとの感否めない ⑧新制服の中学生の評判は良好である ⑨40 周年については実行委員会を立ち上げ来年度から本格的に動きます。</p> <p>Q. 質疑応答では、学校説明会の参加者が増えた理由や広報戦略の重要性と共に合理的配慮を行う学校現場の現状を知ってもらい、もっと大阪府教育庁から支援して頂ければ、との協議委員の意見がありました。</p> <p>第 3 回学校協議会</p> <p>冒頭、委員長から狭山高校が「チームさやま」として文部科学大臣表彰を受賞したことを知り大変嬉しく思います。今、如何に生徒を引き付けるか教師力が問われており、さらに先生方の活動が志願者増に繋がって行くように引き続きご努力頂きたい。続いて学校教育自己診断の分析結果および来年度の学校経営計画 (案) の説明を行い学校協議会委員に理解して頂いた。頭髪・服装について生徒心得を説明し本校の校則をチェックした結果問題なかったことと、制服改訂について現在の制服と新制服の整合性をとったルールを生徒の意見を交えて実施中である。</p>
肯定的な比率	H25	H26	H27	H28	H29																				
授業の工夫	40.7	66.5	70.5	73.5	78.9																				
期待に応える授業	54.7	60.8	62.2	64.8	73.1																				
カリキュラム	57.3	65.3	67.7	67.2	76.7																				

<p>に注力しまずは70%以上に挑戦する。</p> <p>(4) 生徒会活動 生徒会各委員の頑張りにより生徒会活動取組みに対する支持は年々向上しており63.2% (+4p) 学校行事の活性化の一因となっている。</p>	<p>最後に、委員長からAIが登場し機械に代替されても「学びの大切さ」に変わりがなくその大切な役割を今後とも担ってください、また、地域の委員から地域と生徒の繋がりや人間関係の大切さ伝えていきたい。初志貫徹、ぶれない狭山高校の先生方の活動に期待します、との言葉で締めくくられました。</p>
---	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 さらなる学力の向上及び進路の保証</p>	<p>(1) 生徒が主体的に学べる充実した授業の実現に取り組む。</p> <p>ア グループワーク導入による協同的学び、発表能力の向上</p> <p>イ ICTの活用による教員と生徒の対話の実現及び授業の効率化</p> <p>ウ 少人数展開、進路別授業等同質集団による授業の質の向上</p> <p>エ アクティブ・ラーニング型授業の推進</p> <p>(2) 個々の進路の保証</p>	<p>(授業力の向上)</p> <p>ア グループワークを取り入れ、少人数で協同作業、討論を行うことにより生徒に自信をつけさせるとともに、発表能力を向上させる。</p> <p>イ タブレット端末を含むICTを活用することで生徒の興味を引き出し、教員と生徒がキャッチボールしやすい環境をつくる。また、プロジェクター、黒板、プリント等をバランスよく用いて集中力を持続させ、授業時間を有効に活用する。</p> <p>ウ 少人数展開、進路別授業で理解度を向上させる。また、実験・実習を充実させ経験値を上げることで理解度を向上させる。</p> <p>エ アクティブ・ラーニング型授業を行う教諭の研究授業を行い、教諭間の共有を図る。</p> <p>ア 選択科目により主体的学びを引き出す。</p> <p>イ 講習・補習・勉強合宿等勉強会を充実させる。</p>	<p>※【 】は学校教育自己診断による</p> <p>【授業満足度70%】 (H28年度66.7%):生徒</p> <p>【カリキュラム満足度70%】 (H28年度67.2%):生徒</p> <p>【ICTの活用度50%の維持】 (H27年度51.0%):教員 (授業アンケート:3.14→3.18)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業研究チームによる校内研修の実施 ・ 講習や学習イベントへの参加 生徒満足度向上(企画ごとの生徒満足度調査・平均80%目標) ・ 国立大学合格:10名以上 ・ 関関同立合格:述べ100名以上 ・ 看護・医療系、公務員等生徒のニーズによる講習の実施 	<p>教科ごとに授業に関する目標意識を高め情報共有を促進し個々の教員の授業力向上に注力した。その結果、生徒の授業満足度は73.1% (+6.4P)、カリキュラム満足度は76.7% (前年比 9.5P) と共に目標をクリアできた。さらに、ICTを活用する授業を行う教員も80%に達し授業の工夫に関する生徒の満足度は78.9% (+5.4P) に向上した(◎)</p> <p>授業アンケートは、質問9項目の平均値3.15 (第1回目)、3.14 (第2回目)の結果となり目標とする3.18に達しなかったが学力向上に資する授業改善、補習、自主勉強会等の取り組みは効果的であった(○)</p>
<p>2 キャリア教育のための環境づくり</p>	<p>(1) 将来の生き方を考えることができるプログラムを展開する。</p> <p>ア 地域連携、国際交流の充実に向けた体制整備</p> <p>イ 当面の進路決定に必要なプログラムの準備</p> <p>ウ 読書活動の推進</p> <p>エ 「さやまスタンダード」の徹底</p> <p>(2) 人権尊重意識の向上に取り組む。</p> <p>ア 多様な人権教育の推進と適切な対応</p> <p>(3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取り組む。</p> <p>ア 相談体制の明確化及び確立</p> <p>イ 部活動、生徒会活動等の活性化</p>	<p>(キャリア教育)</p> <p>キャリア教育を「生きること、学ぶこと、将来の職業を一体化させること」ととらえ、狭山生に自立・自律した人間として早期に目標を持たせ、将来の生き方を考えさせたい。</p> <p>ア 狭山池まつり等の地域活動を通じて、また幼・小・中学校との連携を通じてボランティアの意味を考えさせる。また、国際交流活動を充実させ、グローバルルームの活用を図る。</p> <p>イ キャリアガイダンス等進路選択に必要なプログラムを準備するとともに、進路指導室、自習室をさらに活用する。</p> <p>ウ マイメモリーを用いた読書活動を通じ、読書習慣を身につけさせる。また、学校図書をも有効に活用し、読書活動を推進するとともに、ビブリオバトルでその成果を確認する。</p> <p>エ 狭山生として必要なルール(早起き、挨拶、自転車マナー、敬語、携帯電話、服装等)である「さやまスタンダード」を徹底する。</p> <p>(人権尊重)</p> <p>ア 多様性のある生徒集団で「ともに学ぶともに育つ」ことの意義を考え実践する。</p> <p>(相談体制づくり等)</p> <p>ア 学校としての相談体制を明確にするとともに、学年団(担任)及び部活動における相談体制を確立する。</p> <p>イ 部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図るとともに、途中で退部した生徒のフォローに努める。</p>	<p>※【 】は学校教育自己診断による</p> <p>【キャリア教育満足度80%】 (H28年度74.8%):生徒</p> <p>【地域連携参画意識50%】 (H28年度49.7%):生徒 (H28年度44.7%):保護者</p> <p>【国際交流参画意識65%】 (H28年度60.2%):生徒</p> <p>【部活動の満足度75%】 (H28年度66.5%):生徒</p> <p>【生徒会活動参画意識60%】 (H28年度59.2%):生徒</p> <p>☆図書資料年間貸出冊数:1900冊 推薦図書ブックレット発行</p> <p>【行事満足度80%】 (H28年度77.8%):生徒</p> <p>【学校生活満足度80%】 (H28年度77.8%):生徒 (H28年度86.1%):保護者</p> <p>【人権意識70%】 (H28年度69.1%):生徒</p> <p>【相談体制の満足度75%】 (H28年度67.2%):生徒 (H28年度62.1%):保護者</p>	<p>「国際感覚を備えた地域リーダーを育成する」をビジョンに掲げクラブ活動、学校行事、地域活動を通じて自己の特性を知り、キャリアガイダンスで職業を知り、生徒が自発的に夢を語り実現する取り組みを実施した。目標とする指標に対してキャリア満足度は80.2% (+5.4P)、地域連携参画意識50.6% (+0.9P)、国際交流参画意識63.2% (+3P)、部活動満足度69.4% (2.9P)、生徒会活動参画意識63.2% (+4P)、学校行事満足度82.8% (+5P)となり全ての項目で前年比増加し、目標値も全てクリアできた(◎)</p> <p>学校生活では学校生活満足度78.4% (+0.8P)、人権意識69% (+0.2P)と微増に終わった。学校生活については80%の満足度を意識したい。反面、相談体制の満足度73.4% (+6.2P)『先生は親身に相談に応じる』の質問に対して6.2P増加したことは、生徒同士の友好的な人間関係の質問項目が88.5%と(-1.2P)と比べて学校を挙げての教育相談体制の充実が結果した証左である(○)</p>

府立狭山高等学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 学校改革に向けての盤石な体制づくり</p>	<p>(1) 教職員による体制づくりに取り組む。 ア SP 委員会 NEXT による学校の将来像の検討 イ 合理的配慮の理解 ウ 創立40周年実行委員会の立ち上げ エ さやまカップの実施</p> <p>(2) PTA, 同窓会等活動の活性化に取り組む。</p>	<p>ア SP 委員会 NEXT で、本校の知名度を高めるための広報の在り方、特に中3生への有効なプレゼンテーションの仕方を考える。 ウ 合理的配慮の理解を深めるための教員研修を実施する。 エ 2019 年度に実施する創立 40 周年行事の実行委員会を立ち上げ、準備を始める。 オ 地域活動、部活動を中心として、「文化部フェスタ」(地域住民と生徒が交流できるイベント)を実施することにより、学校の活動を周知する。</p> <p>PTA、後援会及び同窓会との一体化を進め、学校の応援団としての活動の活性化を促進する。</p>	<p>※【 】は学校教育自己診断による</p> <p>☆ SP 委員会 NEXT を年 8 回実施しプレゼンテーション案を策定する。</p> <p>【人権意識 75%】 (H28 年度 69.1%) : 教職員</p> <p>【学校運営への参画意識 80%】 (H28年度77.7%) : 教職員</p> <p>【PTA 参画意識 75%】 (H28 年度 72.3%) : 保護者</p>	<p>SP 委員会 NEXT で中学生による新制服の人気投票を行い新制服の周知と人気度の向上に寄与した。支援学校から講師を招き障がいのある生徒に対する合理的配慮につき情報共有し意識を高めたが人権意識は 67.9%)であった (△)</p> <p>創立 40 周年実行委員会を立ち上げ職務分担を行ったが、全体の参画意識は 73.6%に終わった (△)</p> <p>文化部フェスタをさやかホールで行い保護者/中学生 大阪狭山市関係者等が来場され狭山高校の魅力をアピールした PTA 参画意識 72.5%(+0.2p) (○)</p>
--	--	---	---	---